



風を味方につけよう♪

ジョブだより Vol.14

2020.5.1

発行元

就労移行支援事業所ジョブシード
函館市深堀町1-7

TEL : 0138-83-8018

FAX : 0138-83-8019

Mail : jobsp.info@gmail.com

<https://www.hakodate-jobplus.com/>

これまでの
就労実績

22名

実習先・
実習人数

20社19名

(2017年1月～2020年5月1日現在)

あたらしい普通

コロナ自粛によってインドのガンジス川が透明になるまで綺麗になっているというニュースを目にしました。こういう事で本来の健全な姿が見られるようになるのは皮肉なことですが、コロナを通して地球が人間に問いかけているのかもしれない。私たちがコロナ前の生活に戻ることは求められず、自分が本当に望んでいることはどんなことなのか、今一度考えてみるきっかけにしてはどうでしょうか？

●捨てたもんじゃない！あたたかいご支援ありがとうございます！

考えてみますと、ジョブシードは様々な取り組みをしております。全スタッフが多忙であります。本業の就労支援だけを考えてみても、「ハウスクリーニング作業」「馬場本商店リサイクル工場作業」「ピアット様ピッツァ等製造補助作業」「着火剤製造作業」「施設内軽作業」と5種作業を毎日行っております。「ハウス～」については作業現場が日に複数になることがあり、翌日の作業現場の下見もします。利用者様の往復の送迎業務も行われます。利用者様との面談もします。同業様から見ますと、当たり前のことですが、同業就労支援事業所スタッフもさぞ多忙でありましょう。有給休暇取得（消化）も計画性が必要です。でも、一般就労を支援するジョブシードとしては、就労訓練としての作業種類にまだ満足出来ていません。何かが足りていないと感じるんです。何が足りないのかなあ～・・・、と思っているところに！

この前にも素敵な出会いがありまして。勿論、就労訓練となる作業の話です。ジョブシード発足の頃は、予定していた訓練作業が白紙になったこともありますし、すぐにでも飛びつきたい！だから、本当にありがとうございます！私どもの事業にご協力をいただけるあったかいお心に改めて感謝致します！

あなたと世の中、素晴らしい！あなたに助けられているから、ジョブシードは就労支援が出来てます！

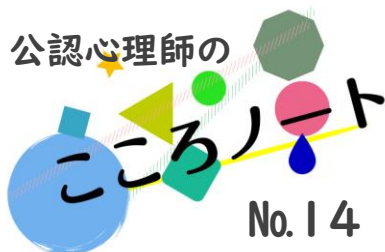
●ホットな話。

令和2年4月で就労支援が終了予定の利用者Bさんがおりました。5月からはY社へ一般就労予定でした。そこに新型コロナが巻き起こり、世の中はだんだんとウイルス感染の影響が見え隠れするようになってまいりました。緊急事態宣言、不要不急の外出自粛、休業要請等で従業員の雇用を守ることも経営者にとっては、優先順位のひとつです。

私のもとにY社社長より相談がありました。Bさんの採用のことです。「必ず雇用する！コロナが収まるまで待つて欲しい！」と。Bさんに丁寧に説明しましたところ、受け止めてくださいました。

Bさんも生活があります。「コロナウイルスがおさまるまで」Y社に替わる就労先の早急な検討が必要です。

で、相談先が見つかりました（幸運！）。じつは数日前、私に「ある方々」より農福連携Cさんのご紹介とご挨拶をいただけておりました。「ある方々」に相談の上、Cさんに全ての事情を打ち明けましたところ、「そういう事なら」と、ご理解が！話はトントン拍子に進みました。我々にとって、大変都合の良い相談にも関わらず、「それでも良い」と笑って言ってくださったのです！このようなアンビリバボーな事ってあるのですね！本当にありがとうございます！



自己認識～成功と幸福を左右する最大要因の鍛え方

①

皆さんは、「自己認識」という言葉を聞いたことはありますか？自己認識とは、「自分自身のことを明確に理解する力ー自分とは何者であり、他人からどう見られ、いかに世界へ適合しているかを理解する能力」を表します。



自己認識には「内的自己認識」と「外的自己認識」があります。内的自己認識は、自分の価値観や理想とする環境、行動パターン等、自分自身を明確に理解する力であり、内的自己認識ができている人は、本来の自分に見合った決断を下し、より幸福感の高い生活を送る傾向があります。逆にこれが欠けた人は、自分にとっての真の成功や幸せに反するような行動をとり、実りのない仕事や関係を続けてしまう傾向にあります。

一方、外的自己認識は、「周りが自分をどう見ているかを知る力」のことです。外的自己認識に長けた人びとは、他人の視点から自分自身を正確に理解できるため、より強固で信頼度の高い関係を築くことができます。外的自己認識に欠けた人

びとは、反対に、自分がどう見えるか分かっていないため、周りから正確なフィードバックをもらう頃には、既に関係が修復不可能になっている場合が多いようです。残念ながら、「最も能力のない人びとが、自分の能力に最も自信を持っている場合が多い」ということがわかっています。これを読んでいる皆さんも、自分が周りからどう思われているかわからない、自信過剰な「裸の王様」状態になっている人のことを何人か思い浮かべてクスッと笑っているかもしれません。もう一つ残念なことは、私たちの多くが、自分に関する認識を「大幅かつシステムチックに誤ることが多い」ということが研究によって証明されています。にもかかわらず、実に95%もの人が自分自身のことを一定程度あるいはかなり自己認識力があると回答しているのです。

またこの二つの自己認識は互いに独立しているものだということがわかっています。自分自身のことをよく理解していれば、他者からどう見られているかも理解できているはずだと考えることは自然なことです。実際にはそうではなく、自分自身に関してしっかりと理解できているからといって、他者からどう見られているかをしっかりと理解できているわけではないということも研究によって明らかになっています。

ここまで読んで絶望したあなたはとても健全な人であり、逆に言えばしっかりと自分自身に向き合おうとしている証拠です。一つ安心できる情報として、内的なものでも外的なものでも、この自己認識というのは驚くほど伸ばすことのできる能力であるというのが研究で明らかになっています。次回からは、自己認識を伸ばしていくための方法を詳しく見ていきましょう。

【参考文献】ターシャ・ユーリック（著）insight(インサイト)——いまの自分を正しく知り、仕事と人生を劇的に変える自己認識の力、英治出版株式会社